



叱り方のコツ⑨ 自分には落ち度がないなどと錯覚するな！

- 「私は、生徒を叱れない」という教師がいる。「私自身が、完全な人間ではないので...」と。
 - ・完全な人間などと、口にするのもおこがましい。自信があると思ったら、それはうぬぼれになる。
 - ・未熟な自分を自覚しているから、未熟な生徒の行動を放っておけないのである。
- 叱るのは教師が偉いからではなく、自分と同じような生徒のゴマカシやズルさを放置しておけないからであり、自分の痛みをかみしめることでもある。
- 教師は究極「自分がよいと思っている生徒像に、現実の生徒を近づけたい」と思っているはずである。
- 「叱れない、叱らない」のは、自分が望ましいと思っている生徒像がないか、生徒に無関心でいられるということである。そうであれば、教師失格でしかない。

2020冬にコロナ休校前に美瑛の丘から撮影した大雪山連邦です。太陽が昇り始めてます。なんかほっとします。そして、涼しさがありますね。

言動の相手は誰だろうか？



言動の相手はだれに対してなのだろうか？

- 荒れに荒れた思春期
- リストカット
- 教師への暴言暴力
- 家庭内暴力
- 万引き
- 窃盗
- ぶつけられない感情の相手役は誰だろうか？
- 今は他者への言動は陰を潜めているが・・・
- 家にこもって、ゲーム依存
- 人との接触を嫌う
- 人に傷つけられたくない
- そして
- 人を傷つけたくない
- そんな心理が見え隠れします。
- 心の叫びの相手はいったい誰なのでしょう？
- 聴いて 聞いて
- 効いて 利いて



どんなトークをしているのでしょうかね。

みんなに出す最後の宿題は、「幸せになること」です。

[エピソード] 中学生の頃、異動してしまう先生が、最後の挨拶で私たち生徒に贈ってくれた言葉です。先生はいつも「勉強なさい！」と言っていたので驚きましたが、とても嬉しかったのを覚えています。先生、私は今幸せです。埼玉県「朝焼け」さん（19歳）

その先生にあなたの想いが届いていたら、最高なんですけど・・・同じ教師として・・・